

平成 28 年 6 月 15 日

白百合女子大学 同窓会 様

八代ナザレ園
園長 富田 美智子

お見舞い金のお礼

この度の「熊本地震」に対し、お見舞いのお電話を頂き、そして、このような多額のお見舞い金を頂きまして誠に有難うございました。昨日で早くも2か月を経過し少しずつ復興の兆しが見えては来ていますが、県下全体ではまだまだ大変な状況にあります。八代市内の当園は、新園舎移転改築を担当した設計士が「日奈久断層」についての地形をかなり危惧し、限られた建設費予算にも関わらず、地盤の強化、擁壁の強化についての考えを最後まで譲らず、通常よりかなりの予算を計上した経緯がありました。よもやまさか1年後にこんなにも早くその検証がなされる時がこようとはと、本当に驚いております。学校が休校の2週間、子ども達は敷地内で元気に群れて遊んでおりました。私についてくる子どもは私と共に数カ所の避難所のトイレ掃除に出掛けました。小学生、中学生、高校生、男女問わず喜んで掃除をしてくれました。その後の連休期間には棟ごとの「お楽しみ遠足」で思いっきり遊び、おかげさまで、今のところは、PTSDに陥るような様子の子ども、スタッフはいないようです。地震当初、他県に住む多くの卒園生が安否の確認で電話をかけてきました。カナダ在住の卒園生からも「TVに震源地八代って出たから遂にかけました。」と心配の声での電話でした。当園が新園舎で過ごし、建物、園児、スタッフ全員が無事である事を知り、みな安心しておりました。が、6月12日には震源地八代、震度5弱でまた心配している事でしょう。

今年の冬は、新園舎で八代では29年ぶりの記録的な大雪に見舞われました。園庭も周りの田んぼも、真っ白な雪景色で、小規模グループケアの一軒、一軒の家ではそれぞれに雪だるまを作ったり、雪合戦をしたりと、子ども達、また若いスタッフにとっても空からの思いがけない、あの「ありの♪～～ままの♪～～」のプレゼントに大喜びでした。

5月13日は当園創立116年目でした。昨年の「創立115周年・新園舎落成記念」の式典から1年が過ぎました。園として確実に新しい土地に溶け込んでいる感じではあります。

熊本地震の揺れは、発生以来2か月で、すでに1700回を超えました。被災されている方々はまだまだ大勢ですが、「元気熊本」のまた新たな歴史が構築されることを願っております。当園としても熊本の皆様、そして全国の皆様のご支援を頂きながら、ますます多様化する子どもたちのニーズ、社会的環境の変化の中で新たな使命を認識し、これからもまた頑張っていきたいと思っております。どうかまたご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴同窓会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

かしこ。